

野村ダムにおける湖面での“エンツアイ（中国野菜）”の水耕栽培による栄養塩類の除去実験について

野村ダムにおけるダム貯水池の水質保全としての“エンツアイ（中国野菜）の水耕栽培による栄養塩類の除去実験”の取り組みについてお知らせします。

平成21年 6月15日

国土交通省
四国地方整備局
野村ダム管理所

問い合わせ先

国土交通省 野村ダム管理所

管理所長／やまじ山地 ひでき秀樹（内線201）
管理係長／おほら小原 かずゆき一幸（内線332）
TEL／0894-72-1211

野村ダムにおける

湖面での“エンツアイ(中国野菜)”の水耕栽培による栄養塩類の除去実験について

野村ダムでは、昭和57年に管理を開始していますが、管理開始以来、貯水池への栄養塩類の流入等による富栄養化が進み、赤潮、アオコの発生が見られるようになってきました。

平成10年以降、アオコの発生の頻度、期間、面積が拡大する傾向が見られるようになりました。

このような状況を踏まえ、野村ダムでは、貯水池の水質保全対策を進めています。

湖面での“エンツアイ(中国野菜)”の湖面での水耕栽培による栄養塩類の除去実験

「中国野菜・エンツアイの水耕栽培による栄養塩類の除去実験」を実施します。

この実験は、「肱川流域の環境と治水を考える住民ネットワーク」より野村ダム管理所に提案があり、鳥取大学名誉教授（農学博士）津野幸人氏に技術指導をして頂き、実施をしてきたものです。平成16年度より実施しています。

貯水池の富栄養化の主な原因物質である窒素、リンを吸収して育つ“中国野菜・エンツアイ”を湖面で水耕栽培し、水質浄化の試験研究をするものです。

栽培は、孟宗竹（モソウチク）で筏を組み、開削した穴に苗を植え、筏を湖面に浮かべて水耕栽培の実験を行います。

筏は、10組（0.8m×4.0m）です。

生育調査、窒素、リンの吸収状況、利用（調理）方法の研究等を行います。

■中国野菜・エンツアイの苗の筏への植え付けを下記により実施します。

苗植えにご協力頂ける方を募集しています。当日会場にお越し下さい。

（苗植えは、筏を陸上げして行います。）

日 時： 平成21年6月22日（月）・午前10時30分～12時。

（小雨決行）

なお、出水等の場合は、6月29日（月）に延期します。

場 所： 野村ダム貯水池右岸（野村学園下）。

〔場所が分からない場合には、野村ダム管理所までおいで頂ければご案内します。〕

湖面での“エンツアイ(中国野菜)”の水耕栽培による栄養塩類の除去実験

- ・成長は早く、種を植えてから2ヶ月で苗が成長し、植付後2～3週間で収穫できます。
- ・葉の部分を摘み取りながら、わき芽を伸ばして、夏の間は成長し続けるため以後何度も収穫できます。

- ・エンツアイの栄養塩類除去力について、葉・茎、根の窒素、リンの含有量分析を行います。

- ・エンツアイの多様な利用として、地域発の調理方法を検討していきます。

※エンツアイは、葉を多めの油で炒めて、醤油などで味付けすると美味しいです。



種を植えて
およそ2ヶ月



2～3週間で収穫
できます



湖面での“エンツアイ(中国野菜)”の生育状況

生育状況(竹筏)



生育状況(鉢植え)



〔平成20年度 実験状況〕